

<令和4年11月定例記者会見>

1 開催日時

令和4年11月2日（水）午後1時30分から午後1時45分まで

2 場所

滝沢市役所 庁議室

3 報道来庁

岩手ケーブルテレビジョン、盛岡タイムス社、岩手日報社、河北新報社、朝日新聞社

4 発表事項

(1) キッズ健幸アンバサダー養成講座の実施について（健康福祉部健康づくり政策課）

この度、市内の小学校において「キッズ健幸アンバサダー養成講座」を実施することとなりましたのでお知らせいたします。

「キッズ健幸アンバサダー養成講座」は、厚生労働省による地域の健康増進活動支援事業の補助を受け、スマートウエルネスコミュニティ協議会が実施する事業であります。この講座では、小学校の高学年の児童を対象に、健康に関する講座と、講座で学んだ知識を他者へ伝えるための方法を指導いたします。これにより、児童のヘルスリテラシーの向上や健康への意識啓発を図り、また、講座で得た知識を児童から親世代及び祖父母世代へ届けることで、正しい健康情報を広める伝道師としての役割も期待するものです。

本市では、11月28日（月）及び12月2日（金）の二日間で、篠木小学校、一本木小学校、滝沢東小学校の3校の5年生を対象として実施いたします。

(2) キャッシュレス決済ポイント還元キャンペーンについて（経済産業部企業振興課）

滝沢市商工会では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内事業者を応援するため、市内対象店舗でキャッシュレスサービス「PayPay」で決済した場合に、PayPay ボーナスを還元する、『キャッシュレス決済 ポイント還元キャンペーン』を実施いたします。

キャンペーン実施期間は11月1日から12月31日までの2か月間。期間中にPayPay で支払うと、決済金額の最大20%の PayPay ボーナスが付与されます。1決済当たりの付与上限は6千円相当、期間中の付与合計額は2万円相当となっております。

対象店舗につきましては、商工会のホームページ等でご確認いただけるほか、キャンペーンポスターを掲示しております。また、利用者向けの利用方法説明会を11月5日にキャンペーン対象店舗でもあります『土日ジャンボ市』、11月26日にビッグルーフ滝沢において開催します。

滝沢市内の経済活性化のため、より多くの方に市内対象店舗をご利用いただくよう、事業の周知及び取材についてよろしく願いいたします。

(3) 移動販売事業の開始について（経済産業部企業振興課）

フェザンを運営している盛岡ターミナルビル株式会社では、コロナ禍による購買動向

の変化に対応し、「フェザン」内の5店舗の商品を地域にお届けする『移動販売事業』を開始いたします。

事業開始は、本日11月2日から、滝沢市川前地区を中心に、当面の間、毎週水曜日と金曜日に実施いたします。地域で身近にフェザンの商品を買うことができる新たなサービスの提供となります。事業の周知及び取材についてよろしくお願いいたします。

5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：キッズ健幸アンバサダーについて、スマートウエルネスコミュニティ協議会が実施するということで、滝沢市以外にも近隣や東北内で実施している自治体はありますか。

健康づくり政策課長：スマートウエルネスコミュニティ協議会に加盟している団体は、県内で滝沢市を含めて3団体です。今回のキッズ健幸アンバサダー養成講座は滝沢市のみです。

記者：すでに全国の自治体での実績はありますか。

健康づくり政策課長：昨年度から実施しているようですが、今年度はこれまでに5つの自治体で実績があるそうです。回数的には、延べ30回くらいとの話でした。

記者：小学生向けの講座ですが、具体的に児童にどういった活動をするを期待していますか。

健康づくり政策課長：両親や祖父母にメッセージが伝わるのが重要と思っています。

記者：学んだことを家庭でも伝えてほしいということですか。

健康づくり政策課長：そのとおりです。

市長：アンバサダーの役目は、健康が大事だということを伝えることですが、そもそも健康に無関心な人は一般的に7割くらいいます。いくら健康のことを話しても、無関心な人が大半です。そうした方々に、ささやきかけるように、普段の会話のように健康の大事さを教えるということですが、同様に小学生に教えて、まずは子どもたちの中で広めてもらうことが一番です。そして家に帰って、父母や祖父母に、そうすると効果が広がってくるということで、今回取り入れて進めるものです。

記者：PayPayキャンペーンは、最初に始めたのは昨年度ですか。

企業振興課長：昨年度2回実施しています。8月中旬から9月中旬に1回目を行い、2回目は12月の1か月間です。今回が3回目となります。

記者：今年度では最初ということですか。

企業振興課長：そのとおりです。

記者：対象店舗は259店舗で決まっているものですか。

企業振興課長：そのとおりです。

記者：2回目までと比べて、今回変更点等がありますか。

企業振興課長：変更点はありません。高齢者で使い方がわからないということを去年から心配していたので、昨年度同様に操作説明会の窓口を開催しています。相談もあったため、今年度もサポートを含めて実施している状況です。

6 その他記者からの当日質問

記者：6日告示の市長選について、先日総決起大会も開かれて立候補予定者2人ということで、選挙戦が予想されていますが、改めて来週からの選挙戦をどのように戦っていきたいか教えてください。

市長：端的に言うと、私の考えていることを淡々と市民の皆様にお伝えするということに尽きると思います。それ以上のことはできませんし、それ以下のことを行うのは問題ですから、今様々なことを考えていますので、それを淡々と市民の皆様にお伝えしたいと考えております。

記者：先日、知事も要請があればマイクを握りたいという話がありましたが、そういった形で要請する予定ありますか。

市長：県自体も忙しいと思いますので、今のところ特に考えておりません。

記者：市民の皆様これまでやってきたこと、やりたいことを伝えるということですが、例えば直接伝えたいことを訴える場を設けるということですか。

市長：一般的な方法としては、選挙カーで市内を回ってそこで訴えるということがひとつの方法です。もうひとつは、集会所に市民の皆様が集まっていただいて、その場で私が考えを述べるという、一般的にはふたつの方法がありまして、それを併用していきたいと思っています。